

「福島大学の誇り、キャンパスライフ活性化事業」

学務担当副学長 工藤 孝幾

キャンパスライフ活性化事業がスタートして今年で12年目になる。改めて振り返ると、いつの間にか長い歴史を持つ、いわば福島大学の伝統的事业の一つになったことに気付かされる。

この間、採択された企画の総件数は、今回の分も含めて実に59件、平均すれば毎年5件近くの事業がキャンパスの内外で展開されてきたことになる。それらによって、どれだけの人々が元気になり、勇気づけられてきたことだろう。「キャンパスライフの活性化と充実」という目的を掲げてはいるが、おそらく企画の半数以上は、むしろ地域を巻き込んだ、あるいは地域の活性化そのものを目的として企画された事業である。この事業の持つ広がりを感じないわけにはいかない。キャンパスライフ活性化事業は、今や福島大学の伝統であり誇りとなった。今回採択された事業もふくめ、これらの事業の企画・遂行に関わった多くの学生と、その活動を支えてくださった教職員の皆さんに、心からの感謝と敬意を表したい。

これまでの企画の中には、事業遂行の成果が、例えば作品や花壇などのように形に残るものもあるが、ほとんどの場合、成果は、例えば「元気」や「勇気」あるいは「感動」や「やる気」など、具体的な形になりにくいものばかりである。それらを少しでも形にして皆さんに提供し、この事業の意義を未来につなげようとするのがこの報告書である。目で確認することはできない、しかし確実に多くの人の心に残った成果の一端を、ぜひこの報告書から読み取っていただきたい。

今年度は、6件の応募があり、その中から4件が採択された。それらの内容の詳細は、報告書をご覧いただくとして、いくつかコメントを加えたい。

採択された4件は、企画の目的や内容、参加学生の属性や人数など、それぞれ実に様々である。ただ、いずれにも共通にいえることは、企画を実行するには様々なハードルがあり、それを乗り越えるには、仲間という組織の力が必要であるということである。それぞれの企画の報告内容から、そのことをぜひ感じ取ってほしい。この事業の目的はキャンパスや地域の活性化であるが、企画と実行に携わった学生のこうした経験それ自体、この事業に込められたもう一つの目的なのだと思う。

ぜひ報告しなければならないことがもう一つある。報告書の中にも記載されているが、「スタ☆ふくプロジェクト」は、若者の旅を促す取組として、昨年6月、観光庁から東北ブロック賞を受賞した。この企画の素晴らしさが外部からも評価されたことを、企画した学生とともに喜びたい。同時に、キャンパスライフ活性化事業としてこの企画を採択した私たちの目が節穴でなかったことも、ついでに喜びたいと思う。

最後に、もう1点触れたいことがある。今回の一つの特徴は、4件のうちの2件に現代教養コースの学生が関わっている点である。昼間の学生に比べ、キャンパスで過ごす時間に制約があるにもかかわらず、積極的にこの事業にチャレンジしてくれたことを私は評価したい。特に「夜間の未来を変えようプロジェクト」は、企画のプレゼンテーション段階から企画者たちの熱意が伝わってきて、意気に感ずるところがあった。

震災後の2年間、この事業に対する応募件数が減りやや心配したが、今年は震災前のレベルに戻りホッとしている。来年もまた、意欲的な企画が今年以上に多く寄せられることをこちらから期待している。

1. 事業目的

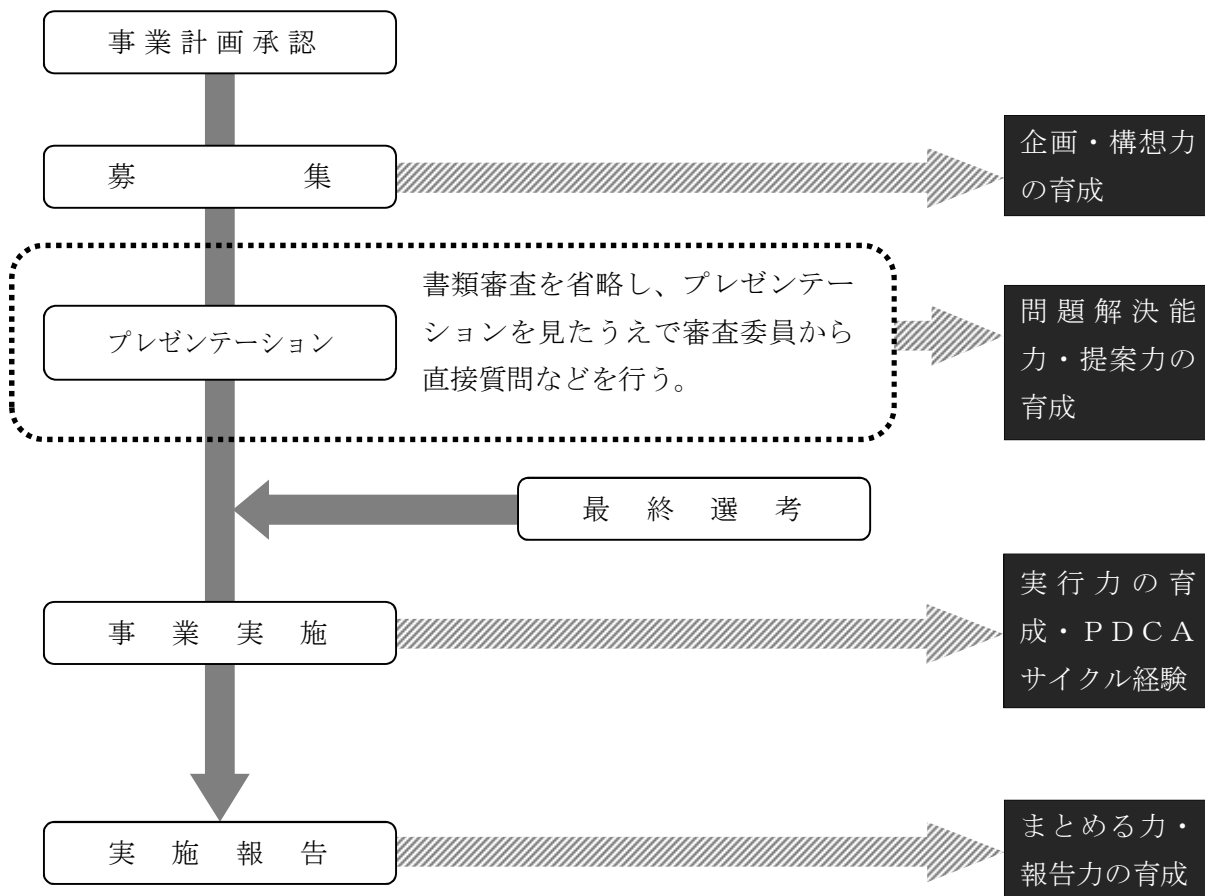
福島大学キャンパスライフの活性化・充実のため、本学の構成員に夢を与え、明日に向けての活力になるような企画・提案を学生から募集し、審査のうえ事業採択し実施する。

(想定される事業)

- ①キャンパス生活を快適にするための事業
- ②研究・製作・調査（卒業研究に関するものを除く）
- ③地域社会との文化的・社会的連携に寄与する事業
- ④福島大学のPRに関する出版、ビデオの作成等の事業
- ⑤国際交流に関する事業
- ⑥スポーツ・文化活動に関する事業
- ⑦ボランティア活動
- ⑧21世紀にふさわしいフェスティバル
- ⑨学生・教職員に夢を与えることができる事業

※その他キャンパス生活をより充実させる事業（課外活動紹介・大会応援など学生参加企画）等

2. 事業スキーム



3. 事業スケジュール

期 日	事 項	内 容 等	備 考
<input type="checkbox"/> H25.04.19.	学生生活委員会	事業計画等審議・了承	
<input type="checkbox"/> H25.04.22 ～ H25.05.17	募集期間	掲示板、電子掲示板、サークルBOX等へ配布・周知	
<input type="checkbox"/> H25.05.22	プレゼンテーション	応募者1団体20分程度 終了後、仮審査	
<input type="checkbox"/> H25.05.22 ～ H25.05.29	最終審査	採択事業の決定	
<input type="checkbox"/> H25.06.03	採択結果発表	掲示等	
<input type="checkbox"/> H25.06.03 ～ H25.12.27	採択事業の実施 予算執行	採択プロジェクトについて、各々 事業を実施 予算執行は事前相談のうえ行う	
<input type="checkbox"/> H25.11.02 ～ H25.11.03	大学祭一般公開出展	構成メンバーで展示ブースの運営 を行い、プロジェクト内容を公表	
<input type="checkbox"/> H26.01.08	実施報告書提出期限	事業実施後、報告書提出	

4. 募集

【募集期間】 平成 25 年 4 月 22 日（月）～5 月 17 日（金）

【募集広報】 ①学内掲示

②電子掲示板

③サークルボックスへのDM

④教務課・学生課による窓口配布

⑤大学および学生課ホームページへの掲載 等

【申請条件】 本学の学類学生（現代教養コース学生含む）及び大学院生で個人又は団体（サークルでも可）。ただし、1 個人・1 団体で1 件の応募に限定。

※非正規生も応募可。

【申請方法】 所定の用紙により、期間内に学生課に提出。

【申請件数】 6 件

平成 25 年度 キャンパスライフ活性化事業

大募集

めざせ!! 敏腕プロデューサー

大学生生活をもっと楽しくするためのアイデアを募集します。

■募集期間 H25.4/22(月)～5/17(金)

■応募方法 学生課・教務課にて所定の申請用紙を受け取り、上記受付期間内に必要書類を揃えて学生課に提出してください。
※現代教養コース生のみ教務課に提出可。

■お問合せ 学生課 TEL:024-548-8054

応募
プレゼンテーション
選考
事業実施
実施報告

掲示による募集

平成 25 年度 キャンパスライフ活性化事業

めざせ!! 敏腕プロデューサー

大学生生活をもっと楽しくするための
アイデアを募集します!



電子掲示板による募集

5. 審査

【審査委員】 11名

(構成) ・副学長(学務担当) 1名
・各学類学生生活委員 8名(4学類2名ずつ)
・学生課長 1名
・学生課副課長 1名

＜プレゼンテーション・仮審査＞

【実施日時】 平成25年5月22日(水)午後1時30分～

【実施場所】 福島大学 事務局棟4階「大会議室」

【実施内容】 ①申請団体によるプレゼンテーション(1団体約20分)

②質疑応答

③終了後、出席審査委員による仮審査

【仮審査】 ①企画によっては条件付き。沿えない場合は不採択。

②計画修正による再提案で「追加採択」も可。

③以上を踏まえて、各委員が最終審査を行う。

【プレゼンテーションの様子】



熱心に話を聞く審査委員



スライドを用いて分かりやすく提案

<最終審査>

【最終審査方法】 キャンパスライフ活性化事業趣旨との整合性、独創性・魅力、実現性・計画性、事業効果等を考慮し、15点満点で各審査委員が採点。

- 〔 ①合計点数が満点の1/2に満たない事業については不採択。
②予算枠内で合計点数の高い企画から順に採択。 〕

【最終審査結果】 採択件数：4件

- ①平成25年度は6事業の応募となり、審査の結果4事業採択された。
- ②配分予算額算定にあたり、認められた。
- ③その他、必要に応じて、プロジェクトには事業実施にあたっての条件等を付した。

【採択事業一覧】 ①ふくしま映画塾2013/福島大学から風が吹く

②スタ☆ふくプロジェクト

③芸術による地域子ども支援プロジェクト

④夜間の未来を変えようプロジェクト

※事業詳細は「8. プロジェクト別実施報告」(p10～)を参照。

6. 福大祭での一般公開

- 【出展期間】 平成 25 年 11 月 2 日（土）～3 日（日）
- 【出展場所】 福島大学 S 講義棟「S33 教室」
- 【出展内容】 各プロジェクトの実施状況を紹介するブースを設置。実施報告や中間報告、本番に向けての PR 活動を行うなど、本事業を学内外にアピールした。
- 【入場者数】 約 200 名
- 【PR チラシ】

平成 25 年度『キャンパスライフ活性化事業』



めざせ！！ 敏腕プロデューサー

大学生生活をもっと楽しくするための
「学生発案企画」を紹介しています

11 / 2 土

9:00～16:00 S33教室

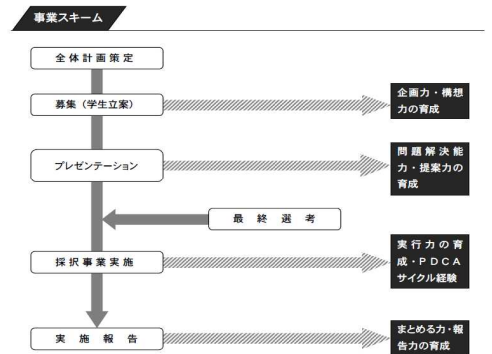
ご自由に
ご覧ください

(担当)
学生課

キャンパスライフ活性化事業って？

福島大学のキャンパスライフ活性化につながるような『学生発案企画』を募集し、審査によって採択された事業を大学が応援しています。企画からプレゼンテーション、事業実施、報告書のまとめなど、普段の学習だけでは経験できない“総合的な学び”につながる大変ユニークな事業です。

大学は物品購入等にかかる資金援助や大学ホームページへの掲載などを通じて支援を行い、毎年 5 件程度のアイデア事業が実施されています。25 年度は 4 件採択されました。



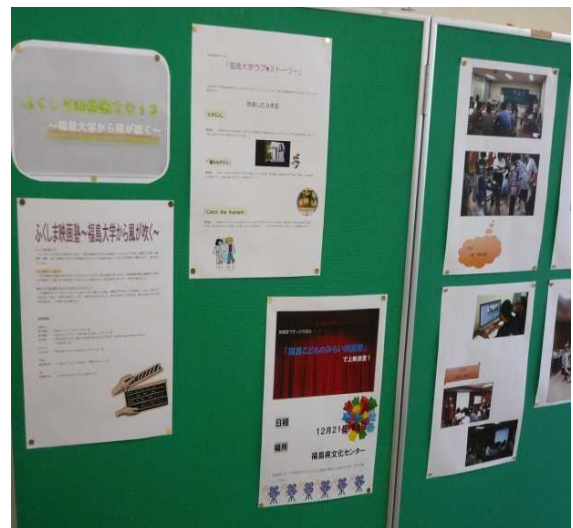
- 平成 25 年度採択事業のご紹介 詳しくは各ブースをご覧ください！
- 1 ふくしま絆実働 2013 福島大学から風が吹く
 - 2 スタ☆ふくプロジェクト
 - 3 芸術による地域子ども支援プロジェクト
 - 4 夜間の未来を築こうプロジェクト



【出展ブース】



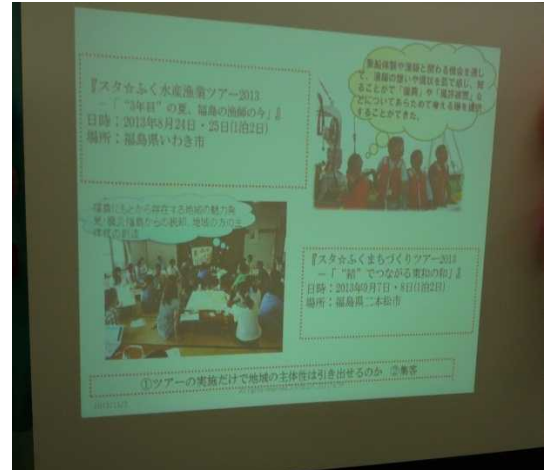
会場内の様子①



会場内の様子②



会場内の様子③



会場内の様子④



会場内の様子⑤



会場内の様子⑥

7. 採択プロジェクト一覧

- (1) **ふくしま映画塾 2013/福島大学から風が吹く** … P.10
- 福島こどものみらい映画祭実行委員会と連携し、現役の映画プロデューサー、監督、脚本家等を講師として、学生、教職員を対象に、映画の企画立案、脚本作り、撮影、編集、上映活動までの一連の流れを経験しながら、映像作品を完成します。作品は国内外の映画祭に出品し、福島の今を伝えるとともに、これらの経験を蓄積し、福島大学の知的財産として集積し、伝達していきます。大学生から福島の今を。
- (2) **スタ☆ふくプロジェクト** … P.18
- スタディーツアーを通して、参加者と地域住民との交流の機会を創造し、参加者の地域に対する理解を図り、よりの確な復興支援をするための情報収集の機会提供をすること。また、地域住民自身に自らの地域に対して自信や魅力を感じられるような機会を作り、地域住民の主体的なアクションを喚起していくこと。
- (3) **芸術による地域子ども支援プロジェクト** … P.25
- 本企画は福島大学の芸術を学ぶ学生が中心となり、地域の子どもたちと芸術によって交流を図ることで地域における新たな文化を築いていこうとするものである。芸術活動（共同で作品制作を行う）を通して、地域と交流することで未来につながる文化を支援していきたいと考えている。学生が中心となって関わることで学生にとっての芸術の新たな可能性について模索する機会とし、福島大学で得た学びを実践を通して地域に還元していきたい。
- (4) **夜間の未来を変えようプロジェクト** … P.35
- ～夜間だから・・・ではなく、夜間だからこそ!!～**
- 私たち夜間主学生団体 Compass は、「何かしたいけど何をしたらいいかわからない」「将来に漠然とした不安がある」人をターゲットに、夜間主生でも大学生として積極的に活動できることが、`当たり前`な環境や機会（チャンス）を企画提案実行しています。《あって当たり前じゃなかった》ものを《あって当たり前》の次元にするには力及ばず、この度はこの事業を機会にし、学校側から認定された意義のある活動だということを PR することで、より多方面の人に刺激を与えたいと考えました。